

國學院大學北海道短期大学部 防災マニュアル(教職員・在学生向け)

【 大きな地震が発生した場合 】

I. 地震発生時の対応

本学が所在する北海道滝川市は比較的地震等の影響が少ない地域ではありますが、平成 30 年 9 月 6 日発生した北海道胆振東部地震では人的及び建物被害共にありませんでしたが過去に経験をしたことのない震度 4 を観測し、直後から北海道全域でブラックアウトを経験しました。この経験を基にこの防災マニュアルを作成し、日ごろからの防災への備えと意識の涵養に努めることにしました。

常に防災意識を持ち、冷静な行動をとるとともに、それぞれが身の安全の確保に努めてください。揺れが収まるまで次の点に注意して冷静に行動してください(どんな大きな地震でも大揺れは数分程度です)。

1. ドア付近の人はドアを開けて、出口を確保してください。
2. 窓ガラスの飛散を防ぐため、窓のカーテンを閉めてください。
3. 衣類やカバンなどで頭を覆い、落下物(TVモニター・蛍光灯等)から身を守ってください。
4. 窓際から離れ、机の下などにもぐり、机の脚につかまって体勢を安定させてください。
5. まず身の安全を確保してください。揺れが収まったら直ちに火の始末をし、電気器具等の電源を切るなどをし、二次災害を防いでください。
6. 出火等があった場合は、揺れが収まってから安全な範囲内で消火器により初期消火活動をしてください。
7. 火災で一番怖いのは煙です。ハンカチ等を鼻や口にあてながら身をかがめて避難し、絶対に煙を吸わないようにしてください。

II. 地震鎮静後の対応(揺れが収まったら)

非常放送や災害対策本部からの連絡などに従ってください。大きな地震には、余震発生の可能性が高いので、十分注意をし、余震等に備え、窓やドアを開けて避難ルートを確保してください。

1. 授業中に教室から避難する場合、次の点に注意して冷静に避難してください。
 - ・衣類やカバンで頭部を保護してください。
 - ・ドアを開けてください。
 - ・窓から離れて、机の下へもぐってください。
2. 事務室・研究室等から避難する場合、次の点に注意して冷静に避難してください。
 - ・ドアを開放したまま避難する。ただし、火災が発生し消火不能の場合は、ドアを閉めて避難する。
 - ・出口に殺到しないで整然と避難してください。
 - ・身体障がい者や負傷者の避難をサポートしてください。
 - ・停電した場合、誘導灯を目印に避難してください。
 - ・隣室等の在室者の有無を確認してください。

- ・姿勢を低くし、必ず階段を使用してください（エレベーターは絶対に使用しないこと）。
 - ・火災発生時には、ハンカチ等で鼻や口をふさぎ、身をかがめて避難し、煙を吸わないようにしてください（火災で一番怖いのが煙です）。
3. 屋外に出て緊急避難場所（校舎前広場）に避難する時の注意
- ・落ち着いて行動してください。
 - ・衣類やカバン・ヘルメットなどで頭を覆い、落下物から身を守るようにしてください。
 - ・窓ガラス・外壁・電柱・看板等の倒壊及び落下に注意してください。
 - ・地面の亀裂や陥没・隆起に注意する。
 - ・火災発生時には、タオルやハンカチで口を覆い、低い姿勢で避難してください。
4. 火災発生・負傷者への対応
- ・火災及び負傷者を発見した場合には、身の安全を確保しながら、周りの者と協力し、安全な範囲内での初期消火、応急手当を行ってください。
 - ・自分が負傷した際には、大声を出すなどして救助を求めるようにしてください。

Ⅲ. 日頃の備え

突発的な地震災害に備えるため、次の諸点に留意してください。

- ・非常時に備え、避難路・避難先（各教室に掲示）を確認しておく。
- ・火災の発生に備え、消火器の位置、使用方法を確認しておく。
- ・応急手当の方法を身につけておく。
- ・積極的に防災訓練等に参加する。

消防設備の使用法

1. 消火器

消火器には粉末、ハロン、強化液等がありますが、どれも同じ方法で使用できます。

- ① 安全ピンを引き抜く。
- ② ホースを外し、火元に向ける。
- ③ レバーを強く握る。
- ④ ノズルから消火薬剤が放出される。（概ね5～6mまで近づいて消火する。）

2. 非常ベル

非常ベルは、消火栓ボックス脇の赤ランプの脇に設置されています。

- ① アクリル板の上から、ボタンを強く押す。
- ② ベルが作動すると同時に赤ランプが点滅する。

3. 消火栓

消火栓の使用には、2～3名が必要です。

- ① 非常ベルを鳴動させる。

② 消火栓ボックス内のホースを全て引き出し、筒先を火元に向ける。

③ 消火栓ボックス内のバルブを回すと、放水開始。

救命処置の手順

心肺蘇生法とAED〔自動体外式除細動器〕の使用

1. 傷病者の意識を確認する。

- ・肩を叩きながら3回耳元で「大丈夫ですか」と声をかける。
- ・呼吸の有無を確認する。
- ・心臓の鼓動を確認する。

2. 大声で「人が倒れています。誰か来てください」と言い、助けを求める。

3. (人が集まったら) 助けを求める人(2人)にはっきりと指をさして、「あなたは～」と指示をする。

- ・1人には「あなたは119番通報してください」と指示をする。
- ・もう1人には「あなたはAEDを持ってきてください」と指示をする。

4. 心臓マッサージをする。

- ・30回1サイクルで行う。

※やり方がわからなくても、心臓の近くを持続的に圧迫するだけでよい。

5. 心配停止なら、持ってきてもらったAEDを使用する。

※人口呼吸は感染症の可能性が高いので、しなくてもよい。

6. AEDのスイッチを入れる。

※ふたを開けると自動的に電源が入るものが主流である。

7. 音声メッセージに従って操作する。

- ・電源パッドは心臓を挟んで対角に貼る。

※発汗が見られる場合はタオルやハンカチで拭いてからパッドを貼る。

- ・自動的に心電図の解析が始まる。

- ・放電準備が整ったら、「離れてください」とアナウンスが流れるので、周りの人にも大きな声で「離れてください」と声をかける。

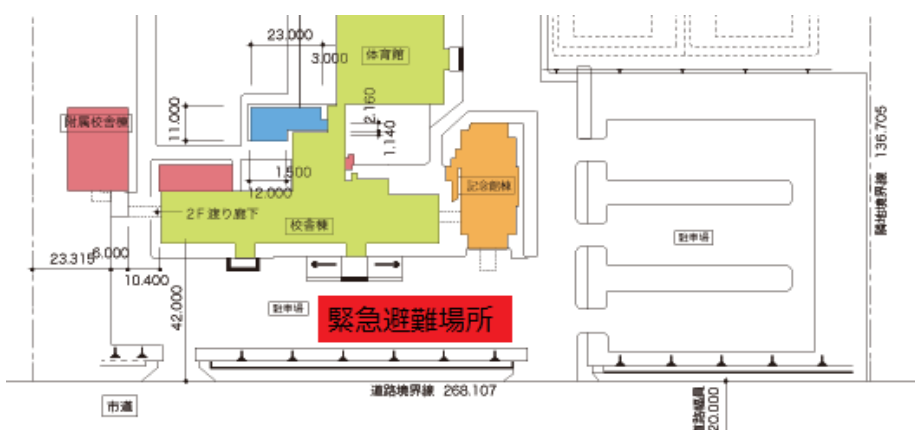
- ・起動スイッチを押す。

8. 放電後、すぐに心臓マッサージを繰り返す。

9. 救急隊が到着するまで、7.～8.を繰り返す。

- ・放電後、心臓マッサージを再開して2分ほど経つと、AEDは自動的に心電図の解析を行う。音声メッセージに従って傷病者から手を離し、周りの人も傷病者から離れる。

國學院大學北海道短期大学部 緊急避難場所案内図



安否確認の連絡及び災害罹災などで被害を受けた場合の大学への連絡方法

緊急連絡先：学生支援課	TEL 0125-23-4111 FAX 0125-23-5590 E-mail gakusei@kokugakuin.jp
--------------------	---

「UNIPA」を利用して学生の安否確認を行います。
落ち着いたら、「UNIPA」にて安否をお知らせください。

1. UNIPAにログインしてください。

[スマートフォン] <https://portal.kokugakuin.jp/uprx/up/pk/pky501/Pky50101.xhtml>

[パソコン] <https://portal.kokugakuin.jp/uprx/up/bs/bsa001/Bsa00101.xhtml>

2. ログイン後「安否確認情報」が表示されますので、回答をしてください。

家族との連絡方法

大規模災害が発生した時は、安否確認などの電話が急激に増加し、電話がつながり難い状況が発災当日～数日間続きます。このため、電話会社、携帯各社が提供する伝言板サービス等を利用して、家族や友人の安否を確認してください。

1. 固定電話[NTT 災害用伝言ダイヤルサービス] 音声による安否確認情報サービスです。



2. スマホ・携帯[災害用伝言版] 文字を使った安否確認情報サービスです。



NTTドコモ



au



ソフトバンク



ワイモバイル



災害用伝言板
※ (web171)

日頃の準備

災害の発生を防ぐことはできませんが、適切な準備を行うことで被害を軽減することができます。どのような準備が必要となるのか、日頃から考えておきましょう。

- 家族との連絡方法や待ち合わせ場所の確認
- 避難場所や緊急避難場所の確認(大学付近および自宅周辺のほか、よく訪れる場所)
- 災害伝言サービスの登録
- 帰宅ルートと所要時間の確認(災害時は徒歩で約 2.5 km/時)
- ハザードマップの確認
- 緊急時メモの作成
- 具体的な情報収集手段の確認
- 大学や友人などの連絡方法の確認やリスト整備
- 緊急時アイテムの常備、確認

緊急時アイテム

現金 (小銭も)
保険証
学生証 (身分証となるもの)
タオル、絆創膏、包帯
小型ライト
小型ラジオ (手回し充電式)
ティッシュ、ウェットティッシュ
非常食 (チョコレート・飴など)
水またはお茶のペットボトル
アドレス帳 (家族、友人の連絡先を記入)
筆記用具 (油性ペンなど)
携帯充電器 (ソーラー推奨) 携帯充電用ケーブル
ごみ袋
非常用保温アルミシート

緊急時メモ (ファーストエイドなど)
常備薬
コンタクト用品
生理用品